

付加価値型バンキングの実現に向けて 「データ活用プラットフォーム」を地域金融機関に提供開始

～地域金融機関のデータドリブン経営を支援し、
お客さまと地域社会への貢献を目指します～

BIPROGYは、「付加価値型バンキング」の実現に向けて、地域金融機関向けに「データ活用プラットフォーム」の提供を開始します。「データ活用プラットフォーム」は、地域金融機関がデータドリブン経営を行う上で必要なデータ分析基盤だけでなく、データに裏打ちされた顧客課題の発見や解決策を策定できるデータ活用人材の育成を行います。BIPROGYは、地域金融機関と共に持続可能な地域の実現を目指します。

【背景】

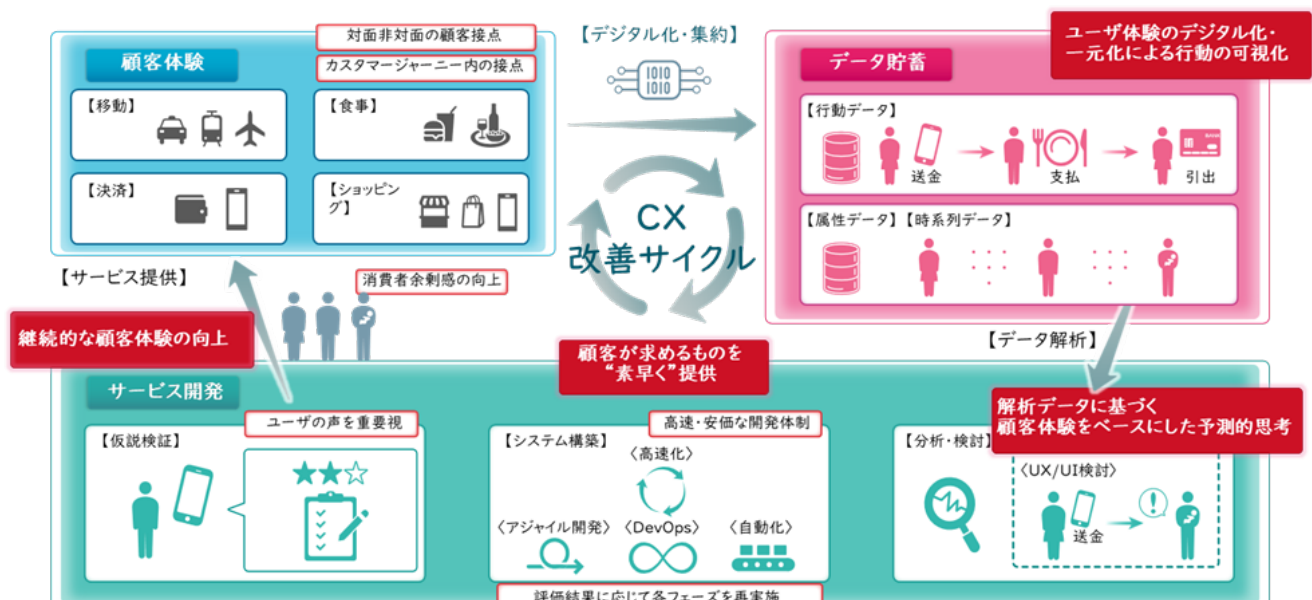
BIPROGYは、地域金融機関に対し社会的価値創出につながる変革を伴走し、地域のビジネスエコシステムを生み出す「付加価値型バンキング」への実現をサポートするため、「BankVision on Azure」を提供しています。「BankVision on Azure」は、株式会社北國銀行（代表取締役頭取：杖村修司氏、以下 北國銀行）で2021年5月3日に稼働を開始^{※1}し、現在、西京銀行^{※2}、山梨中央銀行^{※3}に採用され導入準備中です。

今回、この「BankVision on Azure」の提供に加え、地域金融機関が持つ情報やデータを収集、集約、分析、活用が可能となる「データ活用プラットフォーム」の提供を開始します。

BIPROGYが考えるデータ活用とは、一過性のものではなく、定常的かつ継続的に“使われる”ものであり、データの収集・洞察・活用の改善サイクルを回す構想（デジタルフィードバックループ）のもと、データドリブン経営を目指していくべきと考えています。

本サービスの提供を通じて、銀行業務の改善・デジタル化を進めると共に地域社会のデジタル化支援や課題解決を目指す地域金融機関に対し、データドリブン経営や、「付加価値型バンキング」の実現を支援していきます。本サービスの展開にあたっては、北國銀行で採用され導入中です。

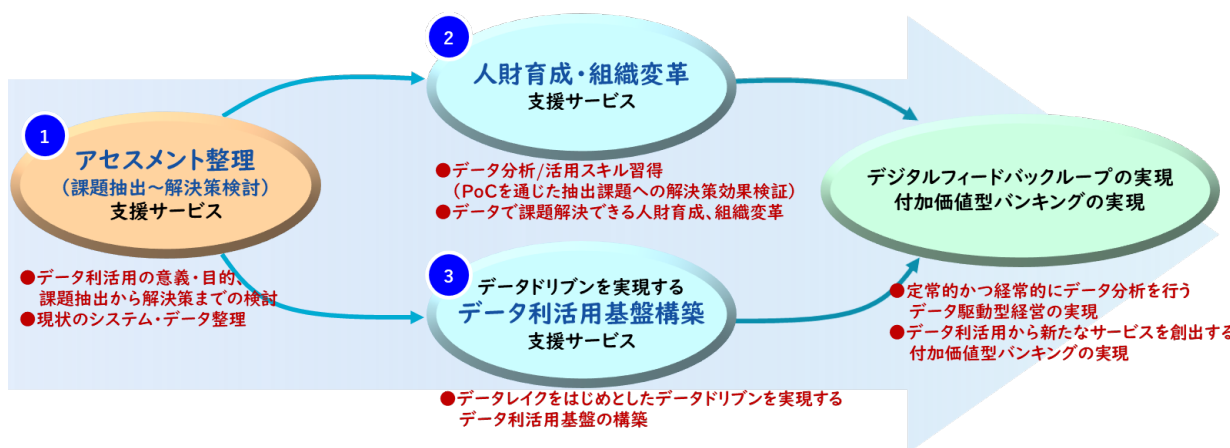
<BIPROGYが考えるデータを活用した改善サイクル（デジタルフィードバックループ）>



【データ活用プラットフォームの提供メニュー】

「データ活用プラットフォーム」の提供メニューは以下の通りです。システム基盤の提供だけでなく、実際にデータ分析を行う人材の育成や組織体制・文化の醸成支援、データを活用する意義・目的の整理などの上流工程をワンストップで提供します。

- ① **アセスメント整理支援サービス**
 - ・そもそものデータを活用する意義・目的の整理や、課題抽出から解決策までの検討を支援
 - ・現状の銀行全体におけるシステム・データの把握や整理を支援
- ② **人材育成・組織変革支援サービス**
 - ・データ分析、活用スキル習得に向けた教育サービス
 - ・銀行内の体制・組織変革の支援サービス
- ③ **データ活用基盤構築支援サービス**
 - ・データを収集・分析し、ビジネス上のさまざまな課題に対して判断・意思決定を促す新機能・新技術を活用した柔軟性かつ信用性の高いシステム基盤の構築



【北國銀行のデータ活用の取り組み】

北國銀行は、「次世代版地域総合会社」の実現を加速するため 2021 年 10 月 1 日持ち株会社「株式会社北國フィナンシャルホールディングス」へ移行しました。グループ会社を持つアセットを活用し、顧客起点でビジネスを展開、生産性向上を通じて北陸地域の発展に寄与しています。

その活動の中で、北國銀行はデータドリブン経営に向けた検討を開始しており、本サービスが採用されました。システム基盤だけでなく、BIPROGY のデータサイエンティストと共同でデータ分析を行いながらデータサイエンティストとしてのスキル・ノウハウを習得し、データ活用人材の育成と組織改革を進めています。具体的には、個人法人デビット保有者の決済動向分析や、事業性貸出先におけるデフォルト分析など、実際の業務要件を題材に POC (Proof of Concept) を実施しました。

BIPROGY は、北國銀行の目指す「次世代版地域総合会社」に向け、データドリブン経営を IT 面と人材育成面の両面で支援していきます。

【今後の取り組み】

BIPROGY は、「データ活用プラットフォーム」を地域金融機関に提供すると共に、各地域金融機関のデータ分析で得られた結果、手法、知見を互いに共有するスキームを検討しています。このスキームにより相乗効果が期待でき、単独で行を進めるよりも、効果的かつスピーディーに、銀行内 DX 化・経営資源効率化および銀行ビジネスモデル変革を目指していきます。また、各金融機関や地域が抱える課題には共通する要素があることから、地域に向けた新たな価値創出やデジタル化支援などの領域についても、地域金融機関同士で課題やその解決策を共有できる仕組みづくりを進めていきます。

以上

■ 関連ニュースリリース：

※1：2021年5月6日 日本ユニシス株式会社（現 BIPROGY 株式会社）
国内初、パブリッククラウドでのフルバンキングシステムが北國銀行で稼働開始
～「BankVision on Azure」により、地方銀行のビジネスモデル変革を推進～
https://www.biprogy.com/news/nr_210506_bankvision.pdf

※2：2021年9月24日 日本ユニシス株式会社（現 BIPROGY 株式会社）
西京銀行がオープン勘定系システム『BankVision』の採用を決定
～ 共同利用型 “メインフレームシステム” から開発自営型 “クラウドシステム” に刷新
～https://www.biprogy.com/news/nr_210924_bankvision.pdf

※3：2022年3月14日 日本ユニシス株式会社（現 BIPROGY 株式会社）
山梨中央銀行が次期勘定系システムとしてパブリッククラウドのフルバンキングシステム
『BankVision on Azure』の採用を決定
～ お客さまと地域社会に貢献する付加価値型バンキングへの変革を目指す ～
https://www.biprogy.com/news/nr_220314_bankvision.pdf

■ 関連リンク：

勘定系システム「BankVision」<https://www.biprogy.com/solution/lob/fs/bankvision/>
株式会社北國銀行 <https://www.hokkokubank.co.jp/>

■ 関連サービス：

データ活用プラットフォームは以下のアセットを活用して構築しています。
業務・目的別ソリューション「データ活用」<https://pr.biprogy.com/solution/biz/bi/>
課題解決を支援するデータ+AI Rinza
<https://pr.biprogy.com/solution/biz/ai/datasupport.html>

※BankVision、Rinza は、BIPROGY 株式会社の登録商標です。

※Microsoft Azure、Azure Data Lake、Azure Synapse Analytics は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※デジタルフィードバックループとは、マイクロソフト社が提唱する DX を効果的に推進するためのフレームワークです。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/